

こんにちは。

10月に入り暖かい日や日差しの強い日が増えてきて、オーストラリアのカラッとしたりした夏が近づいてきているのを日々感じます。10月の第一日曜日にサマータイムが始まり現在時計が1時間早く進んでいるので、日が沈む時間が遅く日が出る時間をより長く楽しめるようになりました。アデレードでの生活も6か月が経ち、帰国まで2か月を残すところとなりました。7月下旬に始まったTerm3も9月30日に終わり、2週間の春休みと6週間ほどのTerm4を経て留学生活は終わります。9月上旬にInternational Science Fairという一週間にわたる大きな学校行事があったので、今回はその話をしたいと思います。

International Science Fairでは生徒は興味のある分野(Challenge Based Learning: CBL)を校外学習や講演を交えながら一週間を通して探究活動をし、各分野の知識や技術を深めるとともにどのように将来の社会に応用できるかを学びます。Challenge Based Learningには人工知能、天文学、古生物学、感染症学、航空学、医工学、法医学など様々な選択肢があり、私はその中から山火事後の生態系再生を選びました。私のCBLでは講師の方を学校に招いてアボリジニの人々の生活の様子や季節の移り変わりなどについて聞いたり、山火事が起こった場所に行って近くに住んでいる方のお話を聞いて山火事が周囲の環境に与える影響や再生のプロセスを学んだりしました。最終日にCBLごとに行った成果発表の際には、他の3人の生徒とともに日本とオーストラリアの山火事の現状と要因について発表しました。オーストラリアの自然環境を考える良い機会になりました。

International Science Fairという名前のとおり、このイベントには他の国々やオーストラリアの他の州からの留学生がたくさん学校に来て学校の生徒たちと一緒に1週間同じ活動に取り組みました。オランダ、日本、クイーンズランド州、南オーストラリア州などの学校から何十人もの留学生が参加しました。なんと京都から6人の日本人留学生も来て、学校唯一の日本人留学生だった私にはとても新鮮でした。この大勢の留学生をサポートするために、20人弱の学校の生徒がアンバサダーとなって校外に出かけたり宿泊施設で交代でアクティビティをしたりして交流し、また授業中も一緒に活動したり留学生との交流を深めました。私もアンバサダーの一人として活動し、様々な留学生と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。普段の授業とは全く違うことを学ぶことができ、また新たな発見もたくさんありとても面白かったです。

最近は英語力の伸びを感じる機会があったり授業で数分のショート映画を作ったりと刺激的な毎日が続いています。留学期間は残り2か月と少ないですが、今ある時間を精一杯使って楽しみたいと思います。

白鷗高校 14期生 次世代リーダー10期生 K・M